

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	令和3年度
事業者名	たまスポーツムーブメント共同事業体 〈構成団体〉 ・コナミスポーツ株式会社 ・イオンデイライト株式会社 ・株式会社DeNA川崎プレイブサンダース ・株式会社川崎フロンターレ ・公益財団法人川崎市スポーツ協会 代表者:コナミスポーツ株式会社 代表取締役 室田 健志 東京都品川区東品川4丁目10番1号	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	多摩区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	10,766	18,590	13,498	16,816	14,288	16,875	20,106	20,849	20,231	18,815	17,242	21,130	209,206
※設備故障のため温水プール休館:令和4年1月4日～1月11日													
収支実績	科 目			予算額	決算額	備 考							
	I 収入の部												
	1	指定管理料		89,325,000	89,325,000								
	2	利用料金収入		64,976,000	53,748,790	団体、個人、駐車場							
	3	教室事業収入		60,026,000	59,173,070	スポーツ教室							
	4	物品等販売収入		4,860,000	1,567,852	自販機、物販							
	5	雑収入		239,000	1,607,650	レンタル、レンタルロッカー等							
	6	補償金		0	26,537,948	新型コロナウイルスの影響による市からの補償							
	合 計			219,426,000	231,960,310								
	科 目			予算額	決算額	備 考							
	II 支出の部												
	1	人件費関係経費		121,244,000	118,676,163	人件費等							
	2	事業関係経費		50,683,000	39,783,575	委託費、使用料及び賃借料、巡回バス							
	3	管理運営経費		90,865,000	68,080,205	光熱水費、修繕費等							
	合 計			262,792,000	226,539,943								
収支差額 (収入の部合計－支出の部合計)				5,420,367									
サービス向上の取組	<p>○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応により通常の運営が難しい状況であったが、施設の安全安心な利用環境を整備するため、所管課等と緊密に連携して人的対応や物的対応を適切に行い、安心して利用できる施設運営を行った。</p> <p>○巡回バスの無料化と定時運行を実践するためのルート変更を行った。</p> <p>○スタッフのマルチジョブ化により、教室外での利用者とスタッフの距離を縮め、利用者意見を引き出しやすい環境を創出した。</p> <p>○ニーズの高いトレーニング室マシンの導入と最新トレーニングメニューの案内を分かりやすい配置にすることで、初めての人でも利用しやすい環境を整備した。</p> <p>○近隣小中学校の水泳授業のため温水プールを開放し指導補助など協力を行った。</p> <p>○地域イベントである多摩区スポーツフェスタ(オンライン開催)に協力し、室内でできる運動動画を作成した。</p> <p>○コロナ禍で活動場所がない競技団体の声を受け、研修室で教室を行うなど施設機能を活かした柔軟な対応を実践した。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3(0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3(0.6)	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
利用者満足度	<p>(評価の理由)</p> <p>【利用者満足度】 ○年度末に実施した利用者アンケートにより、各居室、教室等のプログラム、スタッフの応対等について内容を分析。いずれの設問でも評価点平均が「普通3」を上回り、平均で3.5(5段階)前後の評価を受け、中でもスタッフの身だしなみ、教室プログラム・指導内容の項目において、他項目に比べ高い評価(評価点平均3.71～3.90)となっている。 ○利用者からの声に対し、新型コロナウイルス感染症の影響等で即時の対応ができないものを除き、設備の開放や清掃等、日常業務の運用方法の工夫など、順次対応を行っている。 ○利用者からの声を材料に、教室の内容変更やSNSによる時宜に合った情報発信、WEB利用による教室申込みなど、サービス向上に資する複数の改善策について、具体的な運用に向けた検討を進めている。</p> <p>【事業成果】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、一部解放できない設備や教室があるなど施設全体の機能を活かすきれない部分や不要不急の外出抑制など、一定の制約がある中での運営となった。そのような状況下でも、市中の感染状況によって波はあるが、コロナ禍前(H31年度464,523名)にはまだ及ばないものの、上半期(90,833名)と下半期(118,373名)を比較すると約30%下半期の利用者が増えている。これは、同センターを利用しスポーツに取組みたいというニーズに応え、安全に安心して利用できるよう感染症対策を含めた環境整備等、日々の業務を適切に実施したことの結果でもありと考えられ、身近に感じスポーツを楽しめる施設づくりなどの方針に基づいた、地域のスポーツ振興を担う施設としての役割を果たした。 ○利用者サービス向上のため、巡回バスの無料化と運行時間の遅延解消に向けたルート変更を実施し、その結果、利用者から感謝の声をもらうなど評価を得ている。 ○支払方法の自由度を向上させるため、キャッシュレス決済の機器を導入。導入後徐々に利用率は上がっており、定着してきている傾向が見てとれる。</p>				

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3(0.6)	3.6	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3(0.6)	3.6	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3(0.6)	2.4	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	<p>(評価の理由)</p> <p>【効率的・効果的な支出】 ○指定管理者のスケールメリットを活かした購買システムを通すことで安価(最大20%OFF程度)にかつ短期間での納品が可能となり、物品等の調達において経費削減に取り組んだ。また、駐車券等多くの消費が見込まれるものについては事前に大量発注を行い低単価で調達するなど細かい部分での経費削減にも努めている。 ○複数の業務を担当するマルチジョブの仕組みを導入することで組織のスリム化を果たした。また、区内在住者、在学者を積極的に雇用することで、結果、交通費等のコスト抑制につながっている。 ○館の運営に適した電気事業者の選定による基本料金の抑制に加え、館内に省エネの協力を促す利用者向けの案内を設置し、施設全体の電気代の削減に取り組んだ。 ○定期的に過去の運営・維持管理報告書を確認し、各種機械関連の月別運転開始、終了時間や設定温度などについての情報を参考に、日々の運転状況に合わせ変更や追加を加えるといった、蓄積されたデータから改善可能事案の検証を行い、経費の削減や利用環境の改善に努めている。</p> <p>【収入の確保】 ○利用人数の制限等の対応を行った影響から、積極的な利用促進の働きかけを行うことができず利用料金収入、教室事業収入等において予算額に対し減収となった。今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市の行政運営方針に従ったものであり止むを得ないものとする。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ○スタッフ向けに金銭管理研修を実施し、金銭取扱者のもと、金銭管理・会計処理について適正に実施している。</p>					
	サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6
			サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切なサービスの提供(教室事業)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)		提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3(0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
業務改善によるサービス向上		実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3(0.6)	4.8	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の拡充やSNSによる情報発信等、当初予定していた計画について止むを得ず実施を見送ったものもあるが、施設運営に関する基本的な部分については、概ね仕様通りに履行されている。行政運営方針に基づいた定員改定を適切に実施したほか、利用者同士の密を回避するための仕組みづくり、感染予防の協力の呼びかけ、設備の消毒など感染拡大防止策を丁寧に実践し、同センターの利用を原因とする感染拡大事案を未然に防ぐことができ、コロナ禍でも安心して利用できる環境づくりと身近にスポーツを楽しめる施設運営の両立を果たした。</p> <p>【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ○トレッドミルやバイクといった有酸素系マシンについてTV付きの機器を導入するなど、利用者のニーズの高いものを中心にトレーニング室マシンの入替えを行った。また、同室に体組成計機器を導入しており、利用者の健康管理等に活用されている。 ○初めての利用者でも設備を使いやすくするため、最新のトレーニングメニュー8種類の案内を常設し、施設の幅広い利用を促している。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、接触が多いものなど休止した一部競技を除き、人数制限等、感染対策を実施した上でスポーツデーを開催し、コロナ禍前(H31年度27,439名)にはまだ及ばないものの、前年度を上回る利用実績(14,306名、前年比約169%)を果たした。</p> <p>【適切なサービスの提供(教室事業)】 ○前指定管理者の教室を引き継いだものに加え、共同体の強みを生かした新規教室(フットサル教室)を開催した。プロスポーツでの実績があるチーム名を打ち出すことでの集客効果が期待され利用者数増につながっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、定員の制限や一部夜間クラスを中止したが、スポーツ教室全体ではコロナ禍前(H31年度67,135名)にはまだ及ばないものの、前年度を上回る利用実績(35,687名、前年比約184%)を果たした。 ○一部教室のインストラクターを自社の職員で育成している。運営スタッフが指導者を兼務することで、教室外でのコミュニケーションが容易になり、利用者の声を拾いやすくなっている。 ○教室受講時の注意事項を見直し、申込時に配布することでコロナ禍における安全な施設利用等について、利用者に必要な情報を伝えている。</p>						

サービス向上及び業務改善	<p>【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業)】 ○近隣小中学校の水泳授業の一部を同センターの温水プールで実施し、指導補助の協力を行った。新型コロナウイルスの影響で、当初予定の75%の回数にとどまったが、温水プールの認知度を広め、家庭での利用促進にもつながっている。 ○近隣の西菅小学校、南菅小学校における授業の一環で施設見学会や、南菅中学校の代表生徒と同センターの業務について質疑応答する機会を設けるなど、地域の教育活動に携わることで、施設の認知度や親しみの向上に結び付く効果が得られた。 ○多摩区スポーツフェスタの実施にあたり、実行委員会の一員として企画検討を行ったほか、オンライン開催となったため家庭でできる運動動画の作成協力を行った。 ○スポーツの日イベントの開催。約600名が参加し、障害スポーツ振興の推進に向けポッチャ体験などを実施。また、同センターの可深式プール設備の機能を活かした水深30cmでの利用環境を提供し、子連れ世帯から好評を得た。</p> <p>【業務改善によるサービス向上、利用者の意見・要望への対応】 ○マルチジョブを導入し施設スタッフが教室等のインストラクターを兼ねることで、教室外でのコミュニケーションが容易になり、利用者からの声を拾いやすい環境をつくることできている。 ○利用者への節電や団体利用者に向けてごみの持ち帰りなどの案内を実施し、省エネ・環境保全に留意した施設利用を促進した。 ○施設を発着点とする巡回バスを運行しており、年度途中で新ルートに見直しや無料化を行うなど、利用者の利便性向上に向けた取組みを行った。 ○回数券の販売、キャッシュレスの導入、巡回バス無料化とルート変更、かわさきwi-hiの稼働、歩行誘導マットの設置、ポケットクの設定、ジャンボスリッパの導入、コピーサービスの導入など利用者の利便性向上に資する様々な取組みを実践した。 ○実施した運営業務についての記録を整理し、現状分析を的確に行うことができるよう備えている。 ○新型コロナウイルスの影響で、これまでの活動場所が使えなくなったという競技団体からの声を受け、研修室をレスリング教室開催場所に開放するなど柔軟な対応を行った。その他、利用者からの要望により重点的な清掃を行うなど、日常業務の運用方法についても工夫し、順次対応を行っている。 ○利用者からの声を元に、教室の内容変更やSNSによる情報発信、WEB利用による教室申込みなど、今後のサービス向上に資する改善策について検討を進めている。</p>				
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4(0.8)	6.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	<p>事件・事故、犯罪、災害から利用者を守る事ができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)</p> <p>緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか</p>	8	4(0.8)	6.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか			
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3(0.6)	2.4
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ】 ○業務の継続性を確保するため、人員配置計画に沿った運営・配置を実施し、類似施設での責任者経験のあるスタッフを複数配置している。また、不測の事態に備え市内近隣施設(指定管理者の関係施設)との人員等バックアップ体制を構築しており、平時には研修等を連携して行っている。 ○マルチジョブ(プールスタッフがトレーニング室の案内やふれあいネットの説明ができるなど)を進めることで適正な人員配置を実践している。また、前指定管理者からの継続雇用を行い、経験豊富なスタッフの確保を行った。 ○管理スタッフ、運営スタッフを含めモニタリング会議を実施することで、所管課を含めた情報共有体制を強化しており、状況対応速度を速めることにつながっている。 ○運営・維持管理業務について、指定管理者の構成企業へ再委託が行われており、適切に各種業務が履行された。 ○公正公平な取引を心がけ、正規価格での見積取得や発注を行っている。また、請負業務に関し、現地調査や報告書提出を求めることで透明性の確保を徹底している。 ○教室の講師の多くを市内在住者に委託している。委託業者については可能な範囲で市内業者を優先した委託先の選定を行っている。また、協力会社とのフェアな関係構築により下請法を遵守している。 ○スタッフ向けに各種研修(接遇、個人情報、体育器具備品取扱研修、ふれあいネット、心肺蘇生法・AED、金銭管理、高齢者・障害者対応など)を実施している。</p> <p>【安全・安心への取組】 ○誘導マット等、足元表示による動線案内や、緊急時の避難経路案内などを適切に実施している。 ○緊急時マニュアルを作成・設置し、スタッフ間で共有することで役割分担を明確化している。また、四半期ごとに安全研修や安全の日を設定し緊急時対応シミュレーション研修を行うなどスタッフ間での現状確認の機会を設け、実効性を高める取組みを行っている。 ○日々の始業前点検等で危険箇所等の確認を実施するほか、当月の事故や事故につながる直前の事例を議題に対応策や今後の方向性を見直しを行っている。</p> <p>【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】 ○スポーツセンター条例を含め法令に則った取組を行っている。 ○個人情報保護規定を策定し、実効性を高めるため年4回個人情報保護研修を実施。情報漏洩対策としてメールの送信時にはパスワードの設定を徹底している。毎月3日はコンプライアンスの日と定めており、本社の共通ツールを用いたオンデマンド研修を全スタッフを対象に実施している。 ○職員の働き甲斐を創出する仕組みとしてライセンス制度を導入している。6段階の格付けを行い、昇格のために基礎知識の確認、実技、応用の各テストを実施し、職員配置を行っている。その他、ストレスチェック、働きやすさのため変則労働時間制の導入、サポートスタッフを配置しての育成体制を構築、女性配置時間帯の配慮などを行っている。 ○区内在住者を積極的に採用(スタッフの約9割が区内在住者)することで、通勤時間の短縮等、家庭環境への影響を少なくする効果や地域情報に通じたスタッフが多いことで、近隣在住者の施設利用促進の一助にもつながっている。 ○省エネのためエアコン操作盤に案内を設置し省エネ化を実施している。省エネタイプの自販機に交換。エコキャップ回収ボックスの設置している。 ○団体利用者を中心にゴミの持ち帰りを推奨し廃棄物量の削減に取り組んでいる。</p>				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4(0.8)	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	6	3(0.6)	3.6
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ○常時1名以上の設備管理スタッフを配置し、施設の不具合等が生じた場合に即時対応できる体制を組んでいる。 ○モニタリング会議を通じ、修繕計画に即した点検や個別に対応した不具合箇所の修繕経過等を報告している。また、予定される工事等の概算経費見積作成など市からの依頼に対し必要な協力を行っている。 ○屋外施設(野球場、テニスコート)について、砂入れ等の定期的なグラウンド整備、排水溝整備、落ち葉拾いなどを実施し、日々の利用環境の保全に努めている。トレーニング機器のメンテナンスをメーカー推奨以上に実施。プールろ過装置の点検を四半期ごとに実施している。 ○始業前、備品等についてチェック表を用い自主点検を行うなど、安全点検及び施設外周の巡回点検を実施している。 ○始業前、営業時間中、終業時の定期清掃に加え、毎日の朝礼時に重点清掃を行う場所を確認し、施設の衛生環境の維持に努めている。 ○年4回の安全研修や清掃スタッフ向け給排水設備研修など、各種スタッフに必要な研修を実施している。</p> <p>【警備業務、外構・植栽管理、備品管理】 ○スタッフによる監視設備を設置し、遠隔監視を実施している。また、営業時間中不定期での施設巡回を行い、各ゾーンでの利用者ロッカーキーの確認等を行っている。 ○植栽の美観維持のため、選定・刈り込み、病害虫駆除、施肥、除草等を毎月の休館日に実施するほか、荒天による樹木の異常、枯れ木・枯れ枝の落下を防止するための樹木点検を行っている。また、同センターに隣接する西菅公園との一体性・全体景観を保つため、落ち葉の対応や屋外トイレの整備・改修など道路公園センターと連携し必要な対応を行っている。 ○毎月の休館日を中心に、備品等を適切な頻度で清掃している。また、施設内の設備や備品の故障等に備え、交換部品の予備を確保している。</p>				

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	例) 第三者への一部の業務委託を行う際、市内中小企業者の受注機会の確保・拡大 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みへの協力 かわさきパラムーブメントに向けた取組 市制100周年に向けた取組 障害者の法定雇用率を超える雇用 など			1
	(評価の理由)	○東京2020パラリンピックや箱根駅伝の開催にあたり、区にゆかりのある選手やチームへに向けて、応援メッセージを募集する区の企画について、特設コーナーを設置し協力を行った。選手への応援を通したやり取り等により、パラムーブメントの機運の醸成に貢献した。			

5. 総合評価

評価点合計	65.4	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>今回の事業評価は1年次目の評価となる。総合的な評価として、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染拡大防止策が施設運営の前提となる社会情勢の中、一部設備や定員等の利用制限などの影響があったものの、指定管理者の強みを生かした新規教室開設をはじめ、利用者のサービス向上のための取組を行い、前年度比で年間の利用実績が増になるなど安定した運営を行ったことについて、区のスポーツ拠点として、「幼児から高齢者まで誰もがいつでもスポーツを楽しめ、健康増進を図ることができ、また、地域コミュニティの核として、スポーツ活動を通じた人々のふれあいや地域活動の活性化が図れる施設」という役割を果たしているものと評価する。</p> <p>評価内容としては次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平時の施設運営とは異なる状況であったが、所管課等との連携を緊密にし、区からの指示等に基づき迅速に対応する体制を整えるなど、状況の変化に柔軟に対応し、安全な利用環境の整備に向けて適切な行動をとった。結果、館内でのクラスター発生を防ぐことにつながった。 ○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業計画比では収入減となったが、施設の役割や設置目的を理解し、年間を通じて各種サービスを安定的に提供したことで、スポーツを楽しむ機会や区民の健康づくりなどに貢献した。 ○巡回バス無料化、ニーズの高いトレーニング室マシンの導入など、利用者のニーズや声を受けてサービス向上に努める姿勢が見られた。 ○施設の運営・維持管理において、最適なスタッフ配置が行われ、必要なサービスを提供するための組織づくりが果たされた。 ○職員を対象とした各種訓練の実施や、研修の受講を定期的に行い、職員の資質及び技能の向上に努めた。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> ○利用者アンケートや日頃利用者から寄せられる声を聴取し、内容を分析した上で、利用者の快適な施設利用につながる運営を展開すること。以下の事項について、実施可能なものから順次対応を進めること。教室の申込み方法の選択肢拡大、SNS等を活用した温水プール、トレーニング室などの混雑状況の情報発信、難度を変更した教室等の実施、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった教室等の再開や新規追加に向けた準備を着実に進めること。 ○新型コロナウイルス感染症対策を含め、運用面での変更や施設利用に関する注意事項等、施設利用者に向け細やかな情報提供を充実させること。情報を発信する手段については、既存の方法のみならず、他施設等の事例を参考に効果的で実践可能な方法を研究し実施すること。 ○施設の役割や設置目的への理解を深めると同時に、施設利用者に対し正確な情報を丁寧に伝えることができるよう、職員の意識及び接客技能を向上させる取組を継続的に行うこと。 ○既存サービスを含め今の運用方法を見直す意識を常に持ち、業務改善につながるヒントを探りながら業務にあたること。 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、区と綿密な情報共有を図りながら、利用者が安心して利用できる環境づくりを行うこと。 ○施設の維持管理については、利用者が快適かつ安心して利用できるよう、各種作業を事業計画に基づき確実に実行すること。 ○ジャグジープールにおける衛生管理について、レジオネラ属菌の発生を抑えるため、仕様書の要求水準に定めるとおり、高い基準での衛生管理に努めること。 ○かわさきパラムーブメントの理念を尊重し、誰もが安心して利用できる環境づくりに努めること。また、高齢者、障害者、子育て世帯、子どもなど、すべての人が生涯スポーツに参加できるような運動プログラムの構築等の取組を進め、スポーツを通じたまちづくりを推進すること。 ○地域活動への貢献や支援、施設のPR活動について引き続き積極的に取り組むこと。
--